

## 住民意向調査速報版（双葉町・浪江町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、双葉町、浪江町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

### 1. 調査概要

#### 双葉町

調査主体	復興庁、福島県、双葉町
調査対象	世帯の代表者（3,270世帯）
実施期間	令和4年11月14日～11月28日
回答者数	1,295世帯（回収率39.6%）

#### 浪江町

調査主体	復興庁、福島県、浪江町
調査対象	世帯の代表者（7,272世帯）
実施期間	令和4年11月21日～12月5日
回答者数	3,430世帯（回収率47.2%）

### 2. 調査結果のポイント

別紙1～2のとおり

本件連絡先  
（原子力災害復興班）担当：星野、高橋  
電話：03-6328-0250（直通）

## 双葉町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、双葉町の共同調査は 11 回目。

### (1) 帰還の意向

すでに双葉町に戻っている	0.7%
戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）	13.6%（11.3%）
まだ判断がつかない	26.1%（24.8%）
戻らないと決めている	56.1%（60.5%）

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R3.8)結果

### (2) 帰還を判断するために必要なこと（上位抜粋）

医療・介護福祉施設の再開や新設	45.6%（48.2%）
商業施設の再開や新設	30.8%（28.8%）
除染・解体に関する情報	19.8%（12.7%）
上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報	18.0%（25.6%）
双葉町の今後の姿	13.3%（15.9%）

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

### (3) 戻らないと決めている理由（上位抜粋）

避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから	55.2%（56.6%）
医療環境に不安があるから	41.0%（45.7%）
すでに自宅を解体してしまっているから	41.0%
避難先の方が、生活利便性が高いから	33.7%（39.5%）
生活に必要な商店などが元に戻りそうにないから	30.5%（34.1%）

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

※令和4年度からの新規回答項目については、令和4年度結果のみ掲載

## 浪江町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、浪江町の共同調査は 11 回目。

## (1) 帰還の意向

既に浪江町で生活している	10.7% (9.6%)
戻りたいと考えている	12.2% (11.4%)
まだ判断がつかない	25.6% (24.9%)
戻らないと決めている	50.0% (52.4%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R3.10)結果

## (2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

医療・介護の復旧時期の目途	57.4% (55.1%)
商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途	36.3% (34.7%)
どの程度の住民が戻るかの状況	33.8% (35.7%)
住宅確保への支援に関する情報	24.6% (24.4%)
放射線量の低下の目途、除染成果の状況	21.8% (26.4%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

## (3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	52.2% (49.8%)
元の住家を解体しており、戻る家がないから	49.7% (46.0%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	43.0% (38.4%)
医療環境に不安があるから	39.3% (36.5%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	25.2% (22.0%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答